

育英会だより

発行所
財団法人 漁船海難遺児育英会
東京都千代田区内神田
2丁目2番1号
鎌倉河岸ビル内
電話 03(254)7543



幸せな明日を めざして

徳島県牟岐中学三年
戎谷美枝

今朝も真赤な太陽が太平洋上から昇り、漁場に向かう漁船の音が聞えてきます。公害のない青い海、天然の好漁場、ゆたかな海の幸にめぐまれた、南国阿波牟岐。これが私の生まれ、そして育った町、徳島県牟岐町です。

父・母・兄と私の平和な家庭が思いがけない不幸に落ち込んだのは、昭和四十四年九月、私が小学校二年生のときでした。遠洋マグロ漁船に乗っていた父が急死したのです。

悲しみにくれていた私たち親子三人を励ましてくれたのが、親類、漁協、そして町の人達です。それから母は、町の印刷所へ勤め、兄も今春、高校を

漁船海難遺児の 皆さんお元気で

新井 政左右

私は、全国市町村教育委員会連合会につとめている者ですが、家の柱とも頼む皆さんの父さんが思いがけない船の沈没に会ったり、あやまって海中に転落されたり、また、船で病死されたりした報告の一覧表を一年に三、四回見せていただいて、そのたびごとに、はげしく心の痛むのを覚えます。

この強烈なショックにもめげず、元気に、明るく、強く、希望に向かって勉強したり、体をきたえたり、おうちのお手伝いをしたりしている皆さんの姿を、文集や育英会だよりで拝見して、どんなに心強く思ったことでしょう。

その中でも、私の最も感銘したのは、皆さんの村や町、漁業協同組合は、

ぼくらのお正月

岩手県高浜小学校

六年 十文字 光広
三年 十文字 雅弘



ぼくら兄弟のお正月のたのしみは、大みそかの紅白歌がっ戦や、かようたししょうがきまることからはじまります。歌がっ戦は、どちらがつかつか十二時ごろにならないとわからず、それまでおきていられるかしんばいす。これが終わって除夜の鐘をきいてねます。お正月になると、みかん、ももず(もち)や、このほか、もつとたべるものがあるかもしれません。雪がふったら、雪だるまや、かまくらをつくったり、そりや、ミニ・スキーですべれるし、たこのいとをぜんぶはごして空高くとばしたり、こまをまわすのも楽しいです。弟は、きれいなふくがきれ

「これから大きくなって、お母さんに孝行をしようと思います」という決心でした。この孝行こそ百徳(すべてのよい行い)の本(もと)だと昔から言われています。孝行のできる人は、近所の人も、友達も、親戚も、日中、世界中の人も仲よくでき、世界平和に尽くすこともできるわけです。

また、人は萬物の霊長(一番尊いもの)だといわれています。その第一は、孝行と同じ心から生れ出る敬愛(ことごとす)です。先祖や神、父母、目上の人、お互い同志をうやまい、とうとぶということです。

鳥や獣には、これがないのです。この心は、また人をかわいがり、物を大切にすることとなり、人と人との順序を正したり、世の中の秩序を守る心ともなります。

皆さんの村や町、漁業協同組合は、

私の趣味



静岡県立島田商業高校
一年 久保山 照代

私の今の趣味はといえば何と言っても音楽を聞く事です。しかし、この趣味は私にとつてたいへんお金のかかるぜいたくな趣味だと思っています。なぜなら毎月音楽雑誌を買い、好きなミュージシャンが近くにきたらコンサートにも行きます。といつてもまだ二回し

私の母は父が死んでから十二年間、私達姉弟を育ててくれたうえ、私達弟(も)のこんなぜいたくとも言える趣味についても許してくれています。私はこの事にたいへん感謝しています。私は悪いなあと思ひながらもこの趣味はやめる事はできません。それは私にとって音楽を聞いている時が一番楽しく、心の安まるひとときなのです。母に対しては学校を卒業してから私が、がんばって楽にしてあげたいと思っています。

ところで今年の夏、私の大好きな二つのグループが来日するので、ぜひアルバイトして、この二つのコンサートに行きたいと思っています。最後に一つ私が今一番夢見てる事は外国旅行です。これは私の趣味にも関係があります。またまたお金のかかる夢だなんて言うかもしれませんが、この趣味で良かった事もあります。それは私が英語にたいへん興味を持ったことです。

私は、私の趣味、又母のため、将来の夢実現をめざして一生懸命がんばりたいと思います。

(静岡県焼津市浜当二五七)

若潮を育む集い



楽しいスクウェア・ダンス

岩手県漁協連では、昨年、創立二十周年を迎え、その記念事業の一環として七月十八・十九日の両日、岩手山国立青年の家で漁船海難遺児を励ます「若潮を育む集い」を行った。参加した若潮たちは一二二名で、漁協婦人部役員の付添いで、沿岸四地区からバスで胸をふくらませて集まった。

開会式では、海難事故で亡くなったお父さんの御霊に黙禱を捧げ、若潮を代表して港川正彦君(高二)の力強い「仲間のことば」がのべられた。

二日間の団体生活は、楽しい企画がいっぱいであったが、若潮の先輩である久坂仁平さんと佐藤恵子さんの遺児として歩んできた体験談が、若潮たちを励まし、若潮たちの多くが涙を浮かべききいつていた。

(岩手県漁連 稲荷場)

漁協通信

昭和五十一年度の事業も終わりに近づいてきました。御協力、御支援誠に有難うございました。どうぞ新年度もよろしくお願い申し上げます。

● 年度がわりに伴う奨学生指導事項について

§ 昭和五十二年第一回奨学生願書の受け付け期限は、五月十五日です。

§ 小学校新入学者に対する入学祝金(一人、二、〇〇〇円)は、制度上第一回受け付け期限に願書を提出した者に限られておりますので、もれないよう指導願います。

§ 中学校進学奨学生には、学区分の変更届と、中学校在学証明書提出するよう指導願います。なお、特殊な事由のない限り小・中・高の学区分内の進級届はいりません。

§ 例年のとおり中学校を卒業する奨学生には、進路状況調査表に進学又は就職を明記して提出するよう指導願います。

§ 高校進学奨学生は、これまでの学資給与から奨学金貸与にかわります。高校進学希望者には、あらかじめ奨学金貸与予約をとることとしておりますが、前年は合格しなかった場合を心配して予約しなかった者が多いと聞きます。万一の場合には奨学生願書を提出しないことを連絡いたされればすむことです。全員の予約し全員がめでたく入学できるよう激励して下さい。

● 提出用紙等の送付について

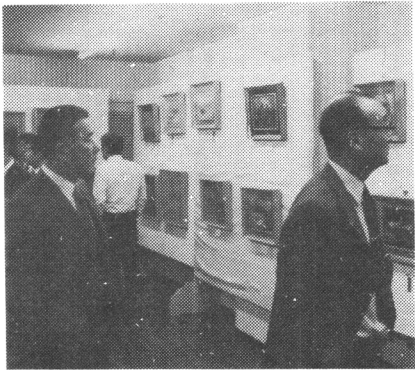
例年のとおり、年度末になりましたら「昭和五十二年度漁船海難遺児奨学生の募集及び学資の給与、奨学金の貸与に関する指導並びに事務取扱について」の協力依頼文と同時に、前記一連の用紙を送りますので、よろしく願います。

なお、願書等は、管内の小中学校新入学児童数等をあらかじめ調査のうえ、必要部数を段階階でまとめ、御連絡願えれば好都合であります。

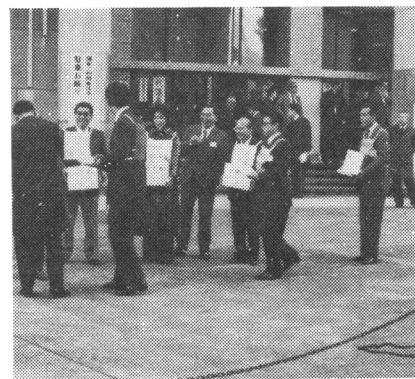
都道府県別奨学生数

(昭和51年12月末現在)

県名	学資給与奨学先				奨学金貸与奨学生	合 計	51年度第3回新規採用者			
	小学生	中学生	高校生	計			小学生	中学生	(貸与)高校生	合 計
北海道	196	220	11	427	52	479	3	4	—	7
青森	119	110	1	230	39	269	4	1	—	5
岩手	97	99	1	197	38	235	8	2	—	10
宮城	73	80	—	153	22	175	3	—	—	3
秋田	4	9	—	13	3	16	—	—	—	—
山形	32	28	—	60	22	82	—	—	—	—
福島	34	39	—	73	11	84	—	—	—	—
茨城	13	23	2	38	7	45	—	—	—	—
千葉	34	15	1	50	8	58	—	—	—	—
栃木	—	—	—	—	1	1	—	—	—	—
東京	6	5	—	11	—	11	2	—	—	2
神奈川	5	12	1	18	7	25	—	—	—	—
新潟	30	27	1	58	8	66	—	—	—	—
富山	15	12	—	27	13	40	—	—	—	—
石川	20	25	1	46	8	54	2	—	—	2
福井	4	5	—	9	3	12	—	—	—	—
静岡	23	33	1	57	19	76	—	—	—	—
愛知	12	13	—	25	4	29	—	—	—	—
三重	14	23	—	37	10	47	—	—	—	—
京都	1	1	—	2	2	4	—	—	—	—
大阪	4	2	—	6	—	6	—	—	—	—
兵庫	20	23	—	43	17	60	1	1	—	2
和歌山	11	9	—	20	6	26	4	—	—	4
鳥取	21	15	—	36	6	42	—	—	—	—
島根	22	21	—	43	12	55	1	—	—	1
岡山	5	1	—	6	3	9	—	—	—	—
広島	3	5	—	8	2	10	—	—	—	—
山口	47	47	—	94	20	114	1	—	—	1
香川	10	10	—	20	14	34	—	1	—	1
徳島	13	21	—	34	11	45	—	—	—	—
愛媛	22	24	4	50	13	63	—	—	—	—
高知	40	33	—	73	13	86	2	1	—	3
福岡	22	26	—	48	5	53	—	—	—	—
福岡県有明海	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
佐賀県玄海	10	6	—	16	—	16	—	—	—	—
佐賀県有明海	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
長崎	117	109	2	228	33	261	4	—	—	4
大分	12	13	—	25	1	26	—	—	—	—
熊本	10	5	—	15	3	18	—	—	—	—
宮崎	16	21	—	37	3	40	—	1	—	1
鹿児島	30	32	—	62	12	74	2	1	1	4
沖縄	2	—	—	2	—	2	—	—	—	—
合 計	1,169	1,202	26	2,397	451	2,848	37	12	1	50



コープビル・チャリティ 展会場



“暖かいふんいき” がいっぱい

海難遺児育英

佐藤幹児画伯チャリティ展
昨年十二月十三・十四日の二日間、東京内神田のコープビル地階展示室で海洋画家佐藤幹児画伯の海の油絵四十二点が展示即売され、売上げから一三六万円が本会へ寄附されました。
佐藤画伯は、岩手県盛岡市の出身で船員として活躍の後、米国で絵の勉強をされた先生です。

今回は、同じ海で働いていた仲間達の遺児のため、少しでも協力したいと全日本海員組合を通じて申し込まれ、このチャリティ展の開催となったものです。

全日本海員組合定期

大会場募金活動

昭和五十一年十二月七日、東京霞ヶ関の久保講堂で行われました。

入学・卒業に伴う
諸手続きについて

昭和五十二年第一回願書受付期五月十五日まで



すが入学祝金を贈呈します。祝金は五十二年第一回の出願者に限られておりますので、お知り合いで入学された方がありましたら連絡をとり合ってください。五月十五日までに願書を提出して下さい。

二、中学校進学は、新たに学区分変更届と中学校在学証明書を提出して下さい。

また、中学を卒業する者には、進路報告書を届けますので、就職又は進学予定のところへ記入し、また、同書が昭和五十二年度貸与奨学生予約申込書にもなっておりますので、奨学金貸与の有無も明記して下さい。

以上の各用紙については、もよりの漁業協同組合にあります。なお、郵便局、銀行扱いの者には、直接本会から送ります。

『募金・寄附金』お礼

第二期漁船海難遺児育英資金募金及び寄附金として、次のとおり漁協系統並びに一般国民の皆様、また年末には水産庁職員、漁船海難遺児を励ます全漁業関係団体役員職員の皆様から、暖かい御協力をいただきました。ここに御芳名を掲げ、厚く御礼申し上げます。
※実績(四月・十二月)

- 一、漁協系統募金 二四、〇〇六千円
- 一、一般寄附金 一一、九四七千円
- 合 計 三五、九五三千元
- ※御芳名(敬称略、九月・十二月分)
- 一、漁協系統募金(系統扱い個人寄附金含む)
- 〔九月〕▽青森市八戸漁連(八田宇一・報恩互助会理事長)
- 〔十月〕▽鳥取県(山岡松義・網代港漁協常務・厳父香典返し)▽岡山県▽大府▽鹿児島県▽熊本県▽静岡県
- 〔十一月〕▽岩手県(陸中宮古青年会・議所)▽鳥取県(長島清住・長生漁業・柳社長・母堂香典返し)▽徳島県(條半五・県漁連常務・夫人香典返し)▽和歌山県▽宮城県(気仙沼漁協)▽広島県
- 〔十二月〕▽千葉県(横峯平一・県信漁連会長・寄託)▽静岡県(西川徳市・柳福積丸社長・厳父香典返し)▽愛知県▽広島県▽石川県▽静岡県▽和歌山県

全国の仲間たち

本会奨学生数は、昭和五十一年十二月末現在で二、八四八人です。この人数には、昨年十月に新たに奨学生となった五〇人(上表の右側)を含みます。
◎ 青森県の長根和子さんには、働きながら高校(定時制四年)に学んでおられたが、昨年病気になれ卒業を目前にして残念ながら退学(奨学生も辞退)され、家で静養されております。

◎ 大分県の伊東保子さん(小六)剛君(小二)のお母さん千代子さんには、毎日元気に働いておられましたが、昨年十一月十日、自転車通勤の途上、不幸にして自動車事故でお亡くなりになりました。

ここに謹んで御冥福をお祈りいたします。(長根さん、伊東さんの御住所) 千〇三九一二 青森県三戸郡階上村大字道仏字沢前戸三八一四 千八七九一二四 大分県津久見市上宮本町一八一三神崎鉄磨様方

＊編集後記

あけましておめでとうございます。本年もよろしくお願ひします。写真を見てみると一層親しみがわいてきます。どうぞ今後の原稿にも、できるだけ写真をつけて下さい。 K・T